

3 ネットトラブル—ショッピング

「美品中古、お買い得」というブランドのバッグをネットショッピングで購入。代金を支払ったのに商品が届かない上、業者とも連絡が取れない!

近年、インターネットを通じて、様々な商品を購入できる「ネットショッピング」が普及しています。ネットショッピングのトラブルで多いのは、

①代金を支払ったのに商品が届かない

②事業者と連絡が取れない

という、商品が手に入る前のものと、

③広告と届いた商品が違う、

④注文したものと違うものが届いた

という、商品が届いた後のものがあります。

ネットショッピングは、クーリング・オフ制度(16ページ参照)の適用がありません。その代わりにショップは、返品に関する特約をあらかじめサイト上に表示しておく義務を負います。

ネットショッピングを楽しむ際には、ショップのネット上の評判を検索したり、HP上にあるショップ情報や取引条件を確認して、信頼できる業者かどうか判断しましょう。事業者の存在等を証明するオンライン・トラスト・マークも目安の1つになり



オンライン・トラスト・マーク



4 知的財産権

安いCDは海賊版だって聞くけど、音質もまあまあだし、ジャケットコピーも本物と同じくらいきれい。でも、海賊版って買っていいの？

知的創造活動の成果である音楽、小説、マンガ、映画、写真、コンピュータソフトウェアといった著作物や、商品のシンボルであるブランド名等の商標等は「知的財産」と呼ばれ、法律により権利化されています。

しかし近年、偽ブランド品や海賊版といわれる商品が販売されています。ブランド品には商標権※があるので本来は勝手に偽ブランド品を作ることはできません。また、海賊版のCDやDVDは著作権を侵害するだけでなく、その購入によって好きなアーティストの収益を奪い、活動を困難にさせています。

著作物を使用する行為には著作権が働き、それらを行うには著作権者に確認することが必要となります。ただし、個人の使用や授業のために、コピーや送信を行うことは可能です。

※商標権：商品や包装等に付す標識である商標についての権利。商標権者は、登録した商標の独占的な使用が可能（商標法第68条）。



おさらいクイズ

正しい選択肢を選んでください。



第1問

インターネットで
情報を集める時は、

- ①複数のサイトを比較検討する
- ②口コミ情報に書かれたことをそのまま信用する

(ヒントは22ページ)

第2問

ブログやプロフで
情報発信する時は、

- ①楽しく自由に交流する場なので、特に注意することはない
- ②自分がされて嫌な情報発信は避け、発言内容には責任を持つ

(ヒントは23ページ)

第3問

インターネットで
買い物した商品を
返品したい時は、

- ①8日以内であれば返品できる
- ②返品の特約がある場合のみ返品できる

(ヒントは24ページ)

第4問

海賊版のCDの
購入は、

- ①海賊版のCDは、著作権を侵害する違法商品である
- ②個人が楽しむために購入する場合は、特に問題はない

(ヒントは25ページ)